

令和3年度 十字会経営方針・運営目標

社会福祉法人十字会

1. 経営方針

(1) 社会福祉法人十字会の事業運営継続のための再検証の年とする

- ①事業活動収支、施設整備等収支、その他の活動収支の年度別・月度別検証
- ②職員配置の現状把握と見直しの実施
- ③施設整備等の保守点検による維持管理の実施
- ④備品等の有効活用の実施

(2) 利用者視点に立ってサービスの質向上に努める

- ①利用者一人ひとりの現状把握と確認による介護サービス提供の実施（現場と支援専門員の連携）
- ②介護サービスの多様化に対応したサービス提供者として研究・研修等による習得に努める
- ③「安心」「安全」なサービス提供場所となるよう環境整備に努める（災害、感染等）

(3) 社会福祉法人十字会職員一人ひとりの成長とリーダー（指導職）の育成

- ①社内研修、社外研修等により社会人、企業人、個人としての資質向上に努める
- ②人事考課制度を有効に活用し（フォローアップ）、資質向上に努める

2. 運営目標

(1) 本部と施設間の連携

- ①十字会として、各々で事業所の活動収支の再検証と施設設備や備品等の有効活用を徹底的に実施し、事業運営継続を推進する
- ②十字会の事業推進委員会・業務改善部会・職種別連絡会等を通じて施設間の連携を図る

(2) 安全・安心な施設経営

- ①感染症予防体制を整備し、感染拡大防止のための研修、訓練（シュミレーション）を実施する
- ②防災避難訓練の計画と事業継続計画（BCP）を随時見直し、必要な介護サービスが提供できる体制を構築する
- ③ヒヤリハット報告書を活用して、原因分析と防止対策を検討し介護事故の最小化に努める
- ④法人の「身体拘束等の適正化のための指針」を職員全員が周知し、虐待防止のための対策を定期的に委員会で検討する

(3) 職員の人材育成及び活力のある職場づくり

- ①法人内の委員会と、定期的に計画した施設内研修や、また施設外研修にひとりでも多くの職員を参加させ、専門的知識や技術を習得させる
- ②能力や実績を反映する成果評価制度による公正な評価を行うことで、職員の定着を図る
- ③個人情報適切に取り扱った上で、個々の現状を把握して適正な介護サービスを提供する